

永平寺川総合開発事業

永平寺ダム



福井県土木部河川課
福井県龍ヶ鼻・永平寺ダム統合管理事務所

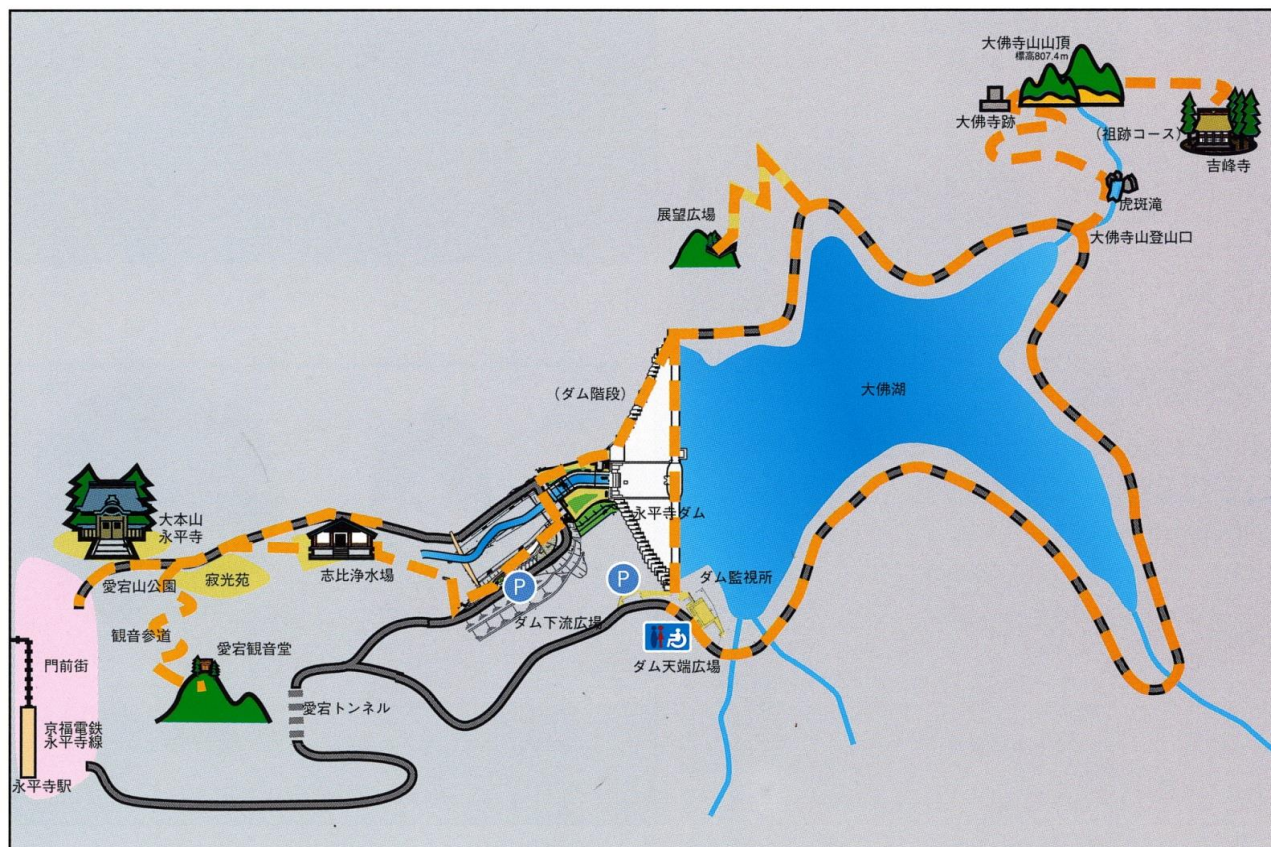
1 ダムの概要

永平寺川は、福井県吉田郡永平寺町に位置し、その源を大佛寺山（標高807.4m）や剣ヶ岳（標高799.5m）等に発し、山間部を北西に流れ、永平寺町京善付近で北へ流れを変えて東古市付近で九頭竜川に合流する、流路延長約9 km、流域面積21.2km²の一級河川である。

永平寺ダムは、九頭竜川水系永平寺川上流の永平寺町志比地先に永平寺川総合開発事業の一環として総事業費155億円を投入して建設された多目的ダムである。

ダムは、重力式コンクリートダムとして高さ55.0m、総貯水容量770,000m³、有効貯水容量630,000m³で洪水調節、水道用水の開発を行うとともに、既得取水の安定化及び河川環境の保全等のための流量を確保するものである。

経緯 平成3年4月 建設採択（小規模生活ダム）
平成7年1月 工事用道路工事着手
平成8年3月 付替道路工事着手
平成10年6月 ダム本体工事着手
平成14年3月 完成



2 ダムの目的

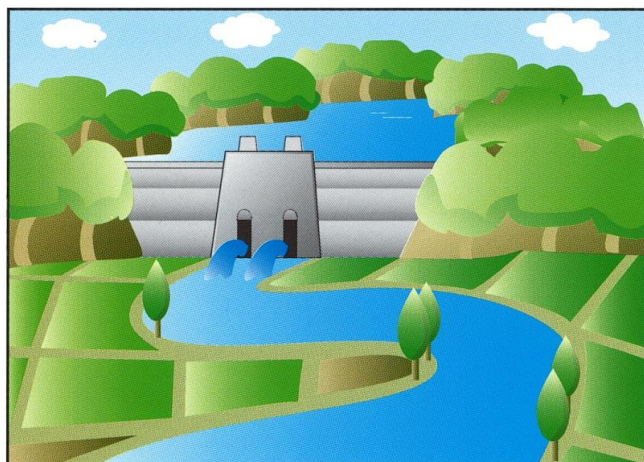
①洪水調節

ダム地点の計画高水流量 $50\text{m}^3/\text{s}$ のうち $30\text{m}^3/\text{s}$ を調節し、永平寺川沿川地域の洪水被害の低減を図ります。



②既得取水の安定化、河川環境の保全等

ダム地点下流の永平寺川沿川の既得取水の安定化を図るとともに、河川環境の保全等のための流量を確保します。



③水道用水

ダム地点において $2850\text{m}^3/\text{日}$ ($0.033\text{m}^3/\text{s}$) の取水を行い、永平寺町へ水道用水の供給を行います。

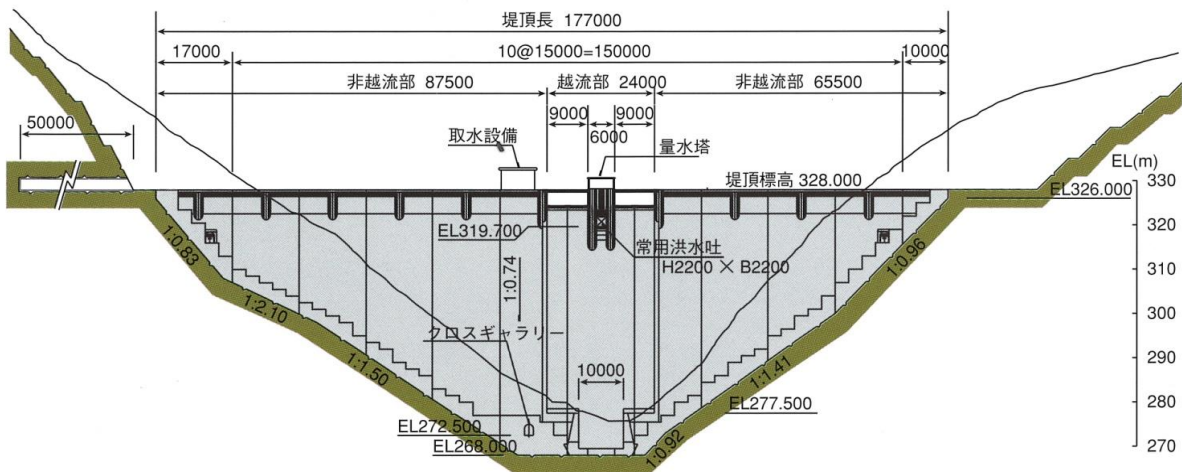


3 ダムの諸元

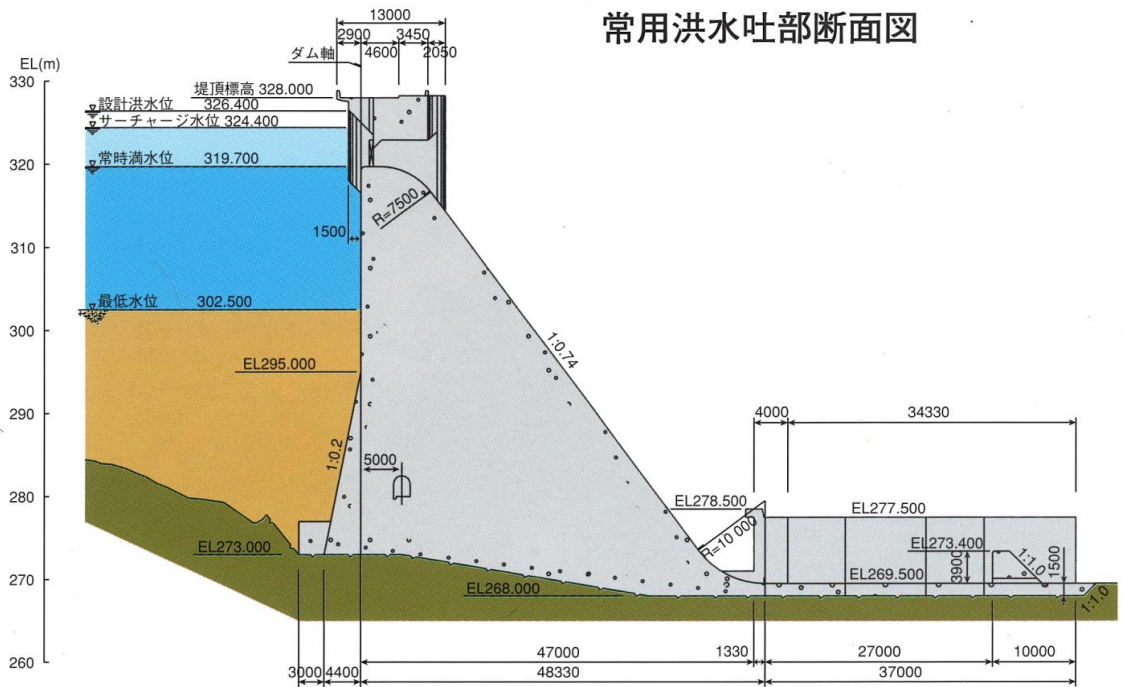
ダ ム		貯 水 池	
河 川 名	九頭竜川水系永平寺川	集 水 面 積	3.10km ²
位 置	吉田郡永平寺町志比	湛 水 面 積	0.04km ²
形 式	重力式コンクリートダム	総 貯 水 容 量	770,000m ³
堤 高	55.0m	有効貯水容量	630,000m ³
堤 頂 長	177.0m	ダムサイトの地質	
堤 体 積	120,300m ³	火山角礫岩・安山岩貫入	

4 ダムの構造

下流面図



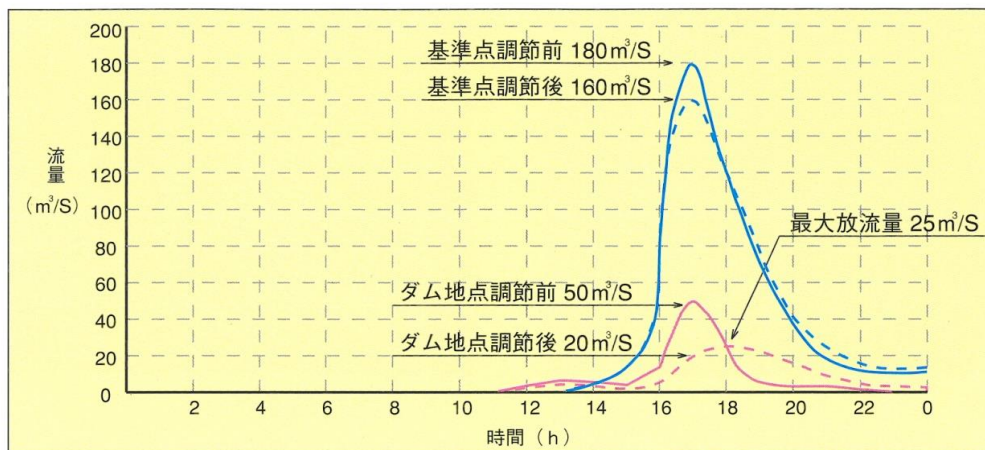
常用洪水吐部断面図



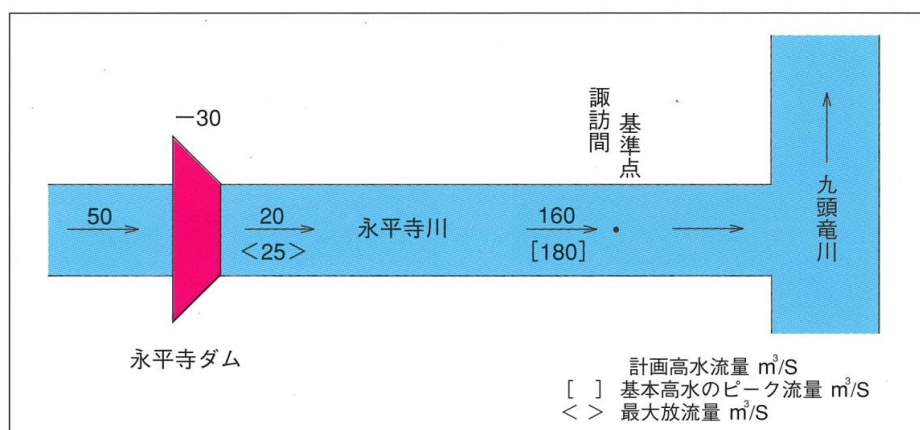
* 減勢地寸法は左岸側壁を示す

5 洪水調節の方法と流量配分図

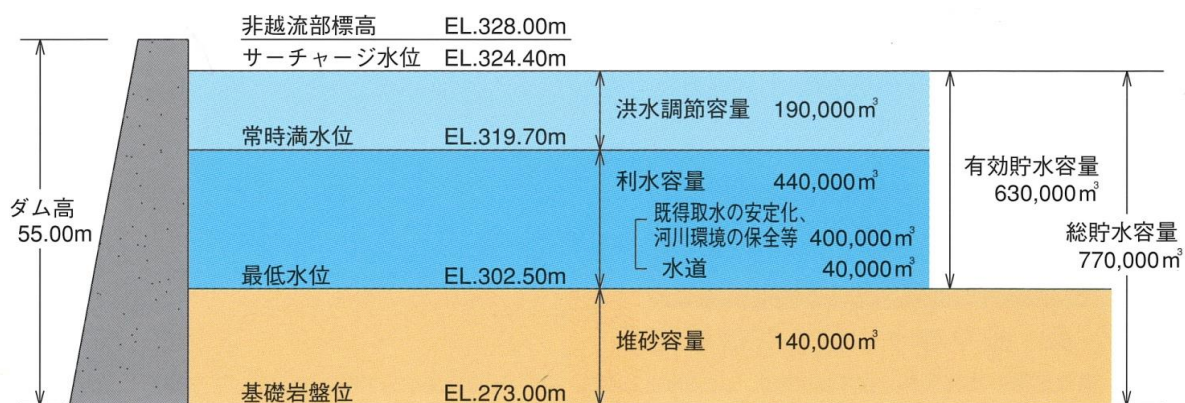
洪水調節図



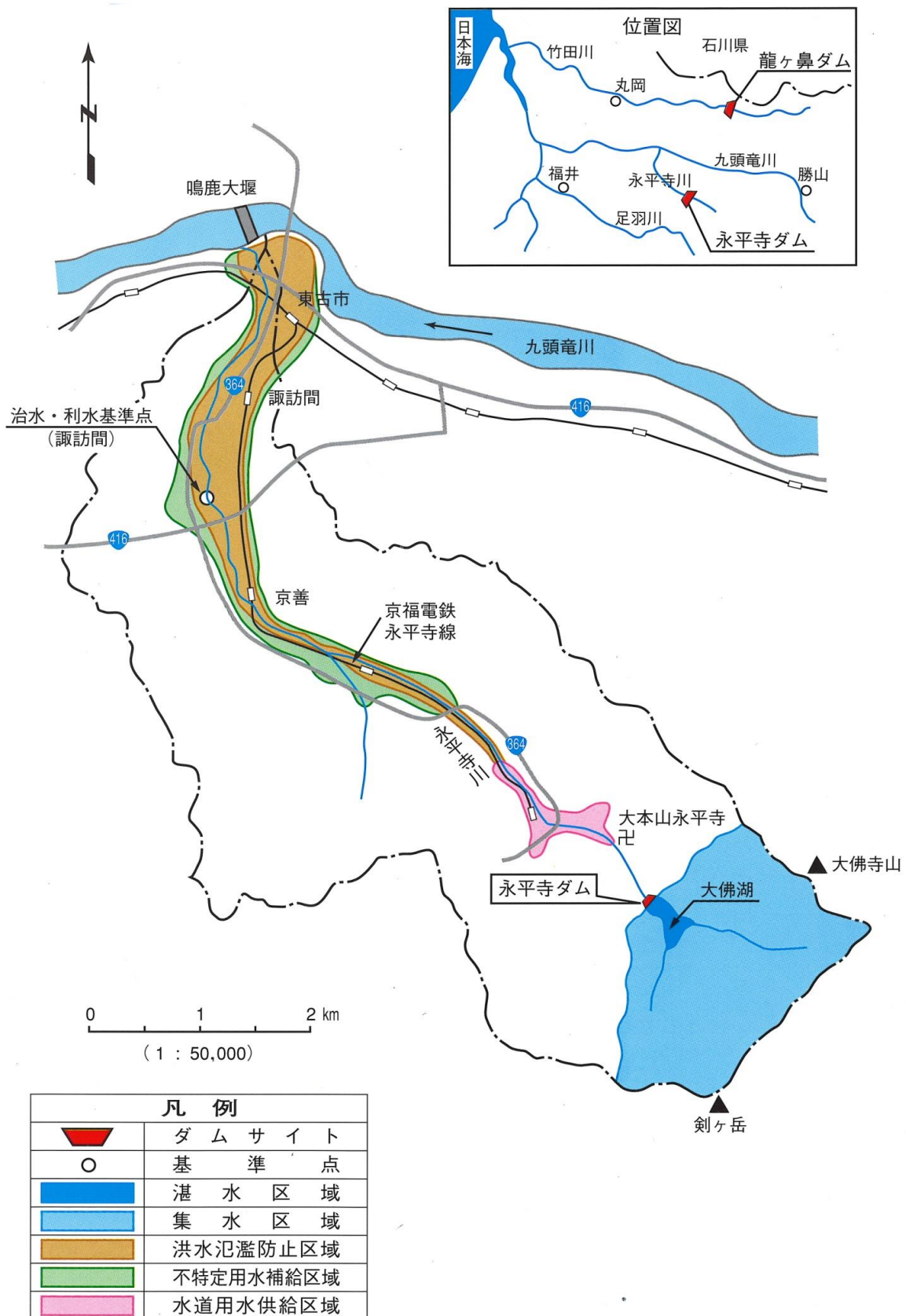
計画流量配分図



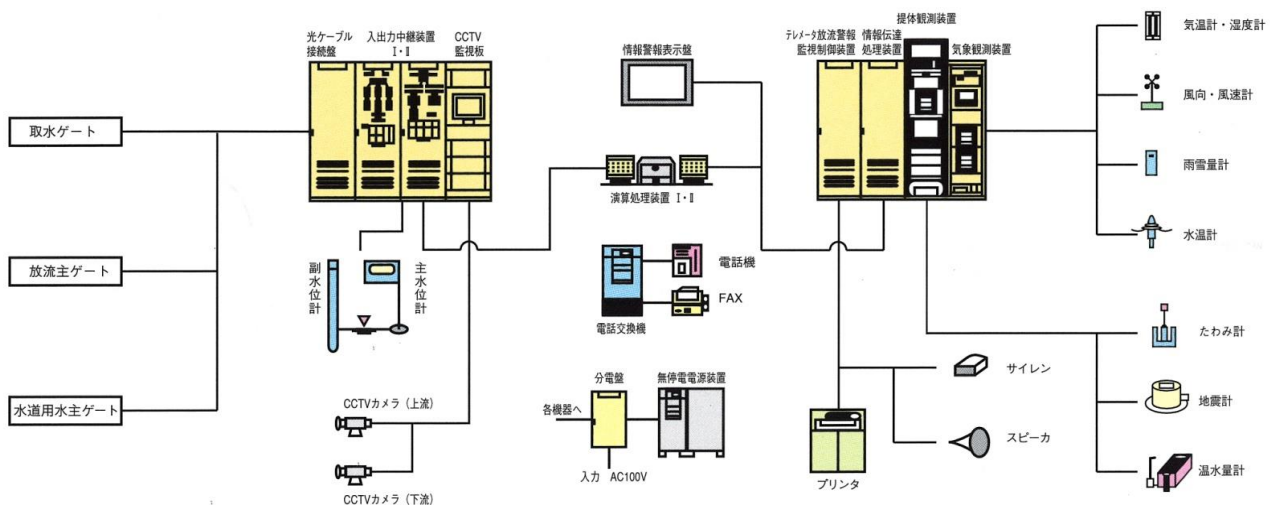
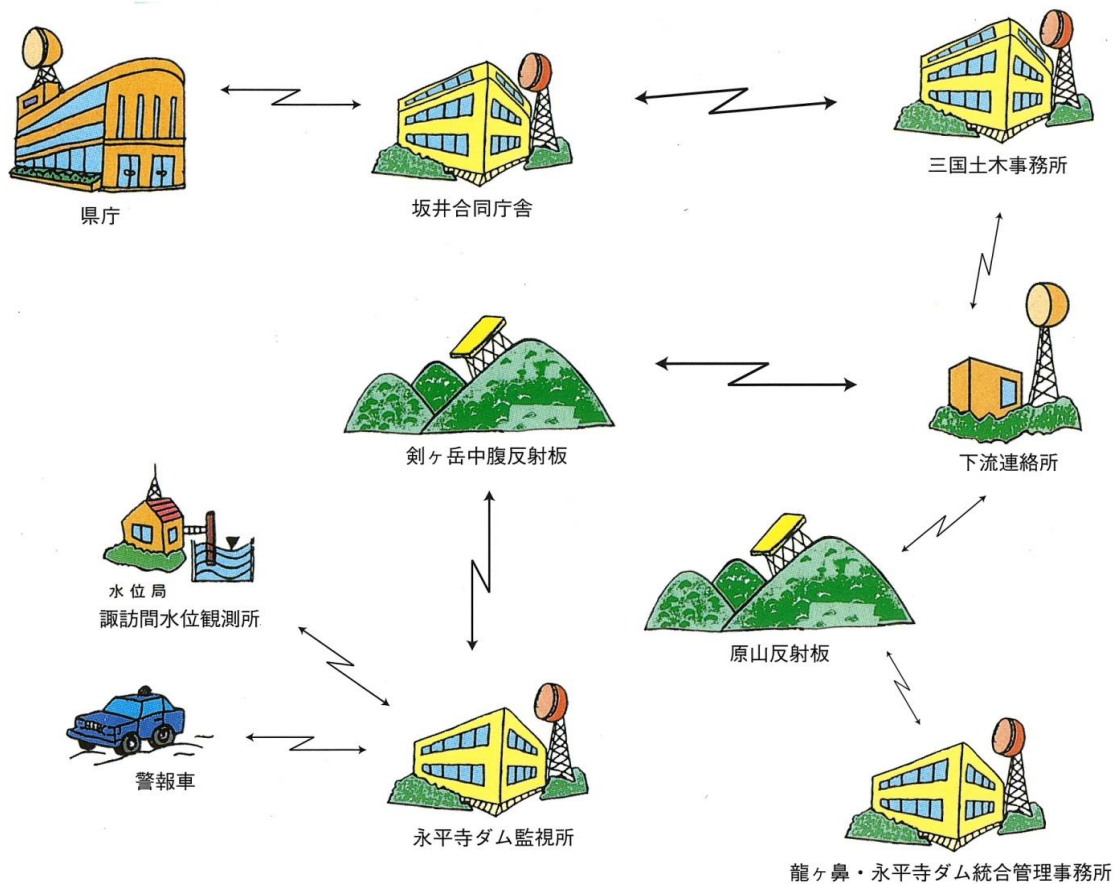
6 貯水容量配分図



7 流域一般平面図



8 ダム管理システム図



9 ダム周辺



大本山永平寺

道元禅師が今から約750年前、座禅修行の道場として創建された曹洞宗の大本山。年間約130万人の観光客が訪れる県内屈指の観光地である。



永平寺大 lantern ながし

毎年8月下旬に九頭竜川流域の夏の風物詩として、全国より申し込みのあった1万基の lantern が流れる。大本山永平寺の役寮・雲水の読経ののち流される光景は、荘厳で厳粛なものである。



四季の森文化館

大本山永平寺の傘松閣を復元した建物には、永平寺ゆかりの仏像・器物、歴代禅師の墨跡や遺品など貴重な資料が展示してある。また図書館も併設されており精神文化の館として広く活用されている。



九頭竜川あゆ釣り

毎年、6月から9月にかけてのシーズンには、早朝から県内はもとより関西、中京方面より多くの釣人で賑わう。



福井県龍ヶ鼻・永平寺ダム統合管理事務所

〒910-0205 福井県坂井郡丸岡町上竹田50字上ノ山56番2 TEL (0776) 67-2841 FAX (0776) 67-2841

福井県永平寺ダム監視所

〒910-1228 福井県吉田郡永平寺町志比52字長尾その2 21番1 TEL (0776) 63-1250 FAX (0776) 63-1251